

「第17回 *i* SUC」札幌大会 実行委員の皆さんからの“熱いメッ

[主催] 全国IBMユーザー研究会連合会

[支援] 日本アイ・ビー・エム株式会社



第17回 iSUC 大会概要

- 日 程 2006年10月25日(水)～27日(金)
- 場 所 札幌コンベンションセンター(札幌市)
- 目 的 技術研修・研鑽、参加者交流、人材育成
- 参加費 60,000円
(大会参加費、1日目夕食、2・3日目昼食込)

※申込み期限後(10月6日 18:00以降)のお申込みは、参加費が65,000円となります。

- 申込方法 **iSUCホームページからお申し込みください。**
<http://www.uken.or.jp/isuc/>

※上記参加費には、宿泊費、交通費、オプションツアー等の費用は含まれません。
交通・宿泊プラン等の詳細はホームページでご案内しています。

「セッション・サポーター」 を募集しています!

参加者の方はサポーターとして、大会の運営の一端をご自身で体験することができます。この機会にぜひ、セッション・サポーターに登録して、iSUCの裏側をのぞいてみませんか?

セッション・サポーターは、自分の間きたいセッションを受講しながらできる簡単なボランティアです。皆さまからのご登録を心よりお待ちしております。

セッション・サポーターを希望される方は、「iSUCホームページ」からご登録ください。参加申込みがお済みな方も、登録変更画面から登録することが可能です。サポーターの方全員に「iSUC特製グッズ」をプレゼントします。

第17回 iSUC実行委員 (順不同、敬称略)

実行委員長	大竹 清治	株式会社ソピウア	[関東研]
事務局長	神林 芳史	リード株式会社	[北関東研]
実行委員	石黒 芳樹	プリンス電機株式会社	[神奈川研]
実行委員	一之宮正臣	株式会社芝パークホテル	[関東研]
実行委員	内野 貴将	株式会社エクサ	[関東研]
実行委員	長島 沙苗	森永乳業株式会社	[関東研]
実行委員	根本 明和	株式会社テレビ東京システム	[関東研]
実行委員	野堀 正伸	株式会社ヤマタネ	[関東研]
実行委員	矢上 克洋	九州勤業株式会社	[九州研]
実行委員	市川 秀和	群馬日産自動車株式会社	[北関東研]
実行委員	梅木 健行	広友リース株式会社	[関東研]
実行委員	日名田 圭	ヤマトシステム開発株式会社	[関東研]
実行委員	八十田 純	株式会社CRCソリューションズ	[関東研]
実行委員	和田 信敏	コベルコシステム株式会社	[関西研]
実行委員	加藤 光邦	株式会社ジェイアール東日本ビルディング	[関東研]
実行委員	北爪 誠	日本電通株式会社	[関西研]

札幌でお会いしましょう!

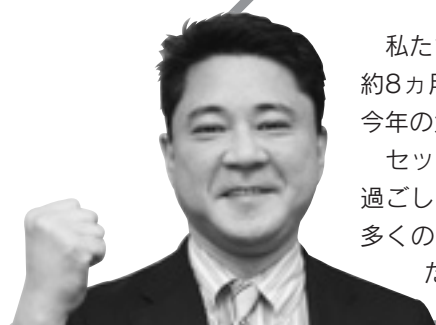
が、まもなく開幕されます。 メッセージ”をお届けします

来る10月25日(水)から27日(金)の3日間、札幌コンベンションセンターにて「第17回 iSUC」が開催されます。iSUC(アイザック)はユーザーによる手づくりの大会です。大竹実行委員長をはじめとするiSUC実行委員の皆さんは、この日に向けて2月からボランティアで大会の企画・準備を進めてきました。今回は、実行委員の方々に今年のiSUCのアピールポイントを熱く語っていただきました。

実行委員長より

ボランティアの力が集結したiSUC

実行委員長 大竹 清治



私たち実行委員はボランティアとして、10月25日から27日の3日間のために、約8か月にわたって各役割(セッション、アドミ、広報/情報システム等)を分担し、今年の大会のカラーを出そうと日夜、奮闘してまいりました。

セッション/モール/交流を通して、参加者の皆さまに少しでも有益な時間を過ごしていただくことを期待すると同時に、この大会が、私たちを支えるさらに多くのボランティアの皆さまによって運営されていることを感じ取っていただけたら幸いです。

事務局長より

大会は、参加者が作り上げるもの

事務局長 神林 芳史

iSUCには3つの理念があり、毎年その理念に沿って開催されています。

- ユーザーのユーザーによるユーザーのための大会
- 強い相互扶助精神によるボランティア主導の大会運営
- 互いに平等な立場で、信頼と尊敬を基調とした互恵的な交流

「第17回 iSUC」は実行委員全員がボランティア精神を発揮し、参加者が技術を研鑽しお互いの交流を深めていただけるよう大会の企画・準備をしてきましたが、当日の大会は、参加者全員が作り上げるものです。どうぞこの理念をご理解いただき、札幌の地で心ゆくまでiSUCを満喫してください。



セッションチームからのメッセージ

多彩で有用なセッションをズラリご用意

セッション担当(リーダー) 野堀 正伸



いよいよ「第17回 iSUC」の開催が目前に迫ってきました。
今年もフランク・ソルティス氏をはじめとする外国人講師によるセッション、北海道ならではの一般教養セッション、実習、認定試験など、150を超えるセッションをご用意いたしました。
そして今年は、新しいi5/OS V5R4が発表になり、新たな機能が加わっています。これらの新しい機能を紹介するセッションも数多くご用意いたしました。
また、Webアプリケーション開発で広く使用されているPHPもSystem iでサポートされるようになり、このPHPに関するセッションもご用意いたしました。
これら多くの有用なセッションが、皆さまをお待ちしております。お楽しみに!

一緒に“Change Leader”になろう

セッション担当 市川 秀和

ご存じのように、iSUCはユーザー自身が作り上げる大会です。セッション内容についても、ユーザー同士の情報交換を図るセッションや、他では聞けないユーザー事例を紹介するセッションなどを今年も数多く集めています。

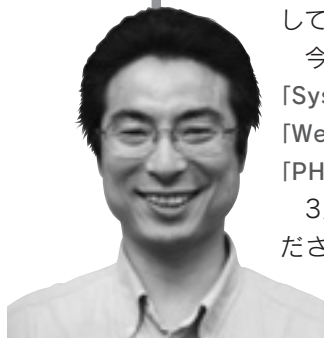
また、今大会のテーマ「The Change Leader」にふさわしいマネジメント・人材育成のセッションや、コミュニケーションに必要なスキルを体感して学ぶセッションなど、現在および将来のリーダーに聞いていただきたいセッションも多数そろえました。

開催時期の札幌は初雪の季節となりますが、雪も溶かす暑い気持ちで皆さまをお待ちしています。



目玉セッションは、“生みの親”そろい踏み

セッション担当 根本 明和



皆さま、こんにちは。「第17回 iSUC」では、3名の外国人講師セッションを用意しています。

今回のキーワードは、題して“生みの親”そろい踏みです。

「System i」の“生みの親”：おなじみのIBM社 ソルティス氏。

「WebSphere」の“生みの親”：初参加のIBM社 ファーガソン氏。

「PHP」の“生みの親”：来日2回目のZEND社 スラスキー氏。

3人の“生みの親”のセッションが聴講できる、またとない機会です。ぜひご参加ください。同時通訳を用意する予定ですので、英語が苦手という方もご心配なく。では、札幌でお会いしましょう。

iSUC名物“ご当地セッション”

セッション担当 長島 沙苗

今年も、皆さまが思わず人に話したくなるような「一般教養」のセッションを取りそろえております。毎年恒例になっている「ご当地シリーズ」は、北海道が生んだエアライン「AIR DO」の誕生物語、帯広“北の屋台”の成功の秘けつ、映画『こぎつねヘレン』の原作となった『こぎつねヘレンが残したもの』の著者・竹田津 実さんのセッションの3本です。これを聞けば、さらに北海道を身近に感じていただけるでしょう。

これらのご当地セッションは、すべて午後のセッションに配置していますので、たくさん勉強してちょっと疲れてしまったときに足をお運びください。きっと頭スッキリ！ 素晴らしいリフレッシュ(^_^)になると思います。



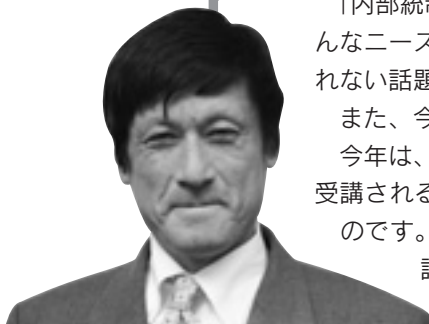
効果的な受講のための“ロードマップ”

セッション担当 和田 信敏

「内部統制の最新事情は？」「ERP導入での最新動向は？」…はい、iSUCのセッションはそんなニーズにもお応えします！ 情報処理部門、システム開発部門の人にとって避けては通れない話題のセッションを、入門編から少し高度な内容まで、幅広く用意しております。

また、今年からの新たな取り組みとして“ロードマップ”を作成しました。

今年も、“System i5” “J-SOX法・内部統制” “ERP”について用意しております。これは受講される皆さまに「どの順番で」「何を」受講したら効果的に知識が得られるかを表したものです。「参加ガイド」に掲載していますので、ぜひ一度ご覧になり、有効なセッション受講のヒントにしてください。



「セッション・サポーター」で大会運営に参加しよう！

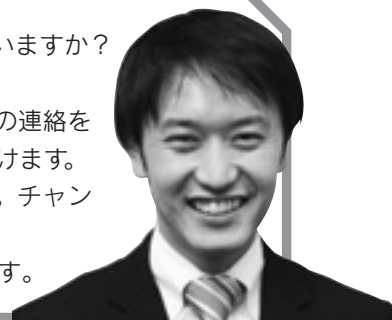
セッション担当 一之宮 正臣

「第17回 iSUC」を参加者としてだけでなく、運営側としても楽しめる方法を知っていますか？ そう、それは「セッション・サポーター」になることです。

こちらでご用意する台本通りに、セッション冒頭の講師紹介や司会進行、事務局からの連絡を行っていただく簡単なお仕事です。もちろんセッション中は着席して受講していただけます。

1,000名を超える参加者のうち、セッション・サポーターを経験できるのは150名だけ。チャンスはわずかです。ボランティア精神あふれる方、ご登録をお待ちしています！

なお、セッション・サポーターの皆さまには、もれなくiSUC特製グッズを差し上げます。



ポスターセッション

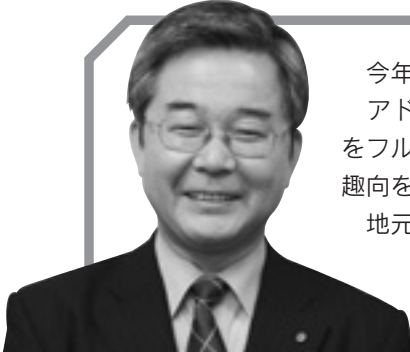
「すべて見せます!! iSUCの舞台裏～今大会ができるまで～」を開催!

iSUCは、「ユーザーのユーザーによる ユーザーのためのコンファレンス」です。大会は、すべてボランティアである実行委員の手によって作られています。キックオフから8ヵ月。その間、iSUCがどうやって作られてきたか、その舞台裏をこっそりご紹介します。モール会場にて「ポスターセッション」の形で開催しますので、お気軽にお立ち寄りください。

アドミ・チームからのメッセージ

北の大地・札幌で皆さまをお待ちしております

アドミ担当(リーダー) 矢上 克洋



今年のiSUCは、3年ぶりに北の大地・札幌で開催されます。アドミ・チームでは、IT研鑽・勉強のために参加された皆さまが、札幌での3日間をフルに楽しめるように、また出会った参加者同士の交流がスムーズに図れるように、趣向を凝らした企画を数多くご用意いたしました。

地元の北海道研会員の皆さまとのコラボ企画もございます。

オープニングからクロージングまでの3日間、iSUCのすみからすみまで、存分に味わい尽くしていただきたく準備を進めておりますので、ご期待ください。

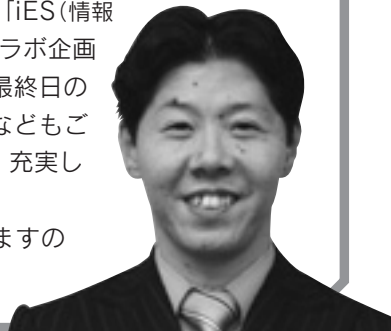
大会を彩る楽しいイベントの数々

アドミ担当 梅木 健行

今年、初めて実行委員となり、主に記念品やイベントを中心に担当させていただきます。

記念品は参加された方々にとって、iSUCの思い出の一つになるようにとの思いを込めて選びました。またイベントでは、初日の夜に「iES(情報交換会)」、2日目の夜は地元・北海道研の皆さまとのコラボ企画「YOSAKOIソーラン・ビール祭り in iSUC2006」、最終日のクロージング・セッションでは「豪華景品(!?)抽選会」などもご用意しております。昼間の各種セッションとあわせて、充実した3日間を過ごしていただければ幸いです。

ちなみに、当の本人は最終日の司会として登場しますので、よろしくお願いたします。



初参加なら「ファーストタイセッション」へ

アドミ担当 内野 貴将

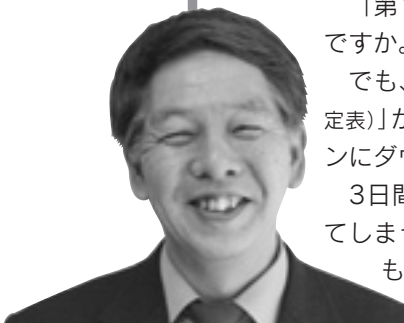
今年のiSUCも、開催まであと数週間となりました。iSUCにはたくさん見所がありますので、ぜひ楽しみにしていただいね。

ところで、iSUCに初めて

広報／情報システム・チームからのメッセージ

「パーソナル・アジェンダ」で事前準備を

広報／情報システム担当(リーダー) 北爪 誠



「第17回 iSUC」札幌大会の開催まで、あと数週間になりました。皆さま、準備はいかがですか。着替えは？ 持っていくパソコンは？…もう少し先でも間に合いますね。

でも、この時期からぜひ準備していただきたいものに、「パーソナル・アジェンダ(個人別予定表)」があります。聞きたいと思うセッションを登録し、資料が掲載されていたらパソコンにダウンロード。また、携帯電話でもパーソナル・アジェンダを確認することができます。

3日間のセッションを効率よく受講するために、また、聞きたかったセッションが終わってしまった、ということにならないように、事前準備をお勧めします。「参加ガイド」にも詳しい説明を掲載していますので、ぜひご覧ください。

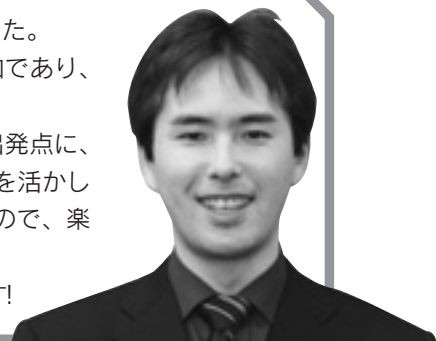
ドキドキのiSUC初体験です

アドミ担当 日名田 圭

iSUCも今年で17回目を迎え、今回は札幌での大会に向けて検討、準備してまいりました。
と、なにやら実行委員っぽいことを言ってみました。何を隠そう私自身iSUC初参加であり、しかもいきなり実行委員という立場で関わることとなりました。

iSUCとは何か? どんなことをやるのか? 何を準備するのか? というところを出発点に、他の実行委員の方にもサポートしていただき、共に進めてきました。初めてという視点を活かして、充実した3日間を送っていただけるようしっかり準備を整えてお待ちしておりますので、楽しみにしてください。

最終日のクロージングの抽選会には進行役として登場しますので、よろしくお願いします!



「モール・セミナー」に注目!

アドミ担当 石黒 芳樹

実行委員になって2年目の「iSUC 札幌大会」が、いよいよ間近になってきました。今回、私は「iSUCモール」を中心に担当しております。

モールでは、毎年恒例のブースでのIT展示会に加え、「モール・セミナー」を予定しています。モール・セミナーでは、モール会場内に併設されたセミナー・ブースで、ベンダー各社による最新ソリューション・セミナーを実施します。オープンスペースで行ないますので、昼食後やセッションの間の休憩に、皆さまお誘い合せの上お気軽にお立ち寄りください。

また、ドリンクやノベルティグッズが当たる恒例の「スタンプラリー」も行ないますので、お楽しみに!



マーズ・



参加される方にオススメなのが、1日目の午前と午後で開催される「ファーストタイムズ・セッション(FTS)」です。

FTSでしか聞けない(?)iSUCの楽しみ方や、参加者同士の交流もありますので、ぜひ受講してください。

快適な情報システム インフラをご用意

広報/情報システム担当 加藤 光邦

3年ぶりに北の大地へiSUCが戻ってきました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

「第17回 iSUC」では、皆さまにお持ちいただくノートPCを快適にご利用いただくため、セッション会場内を除く、札幌コンベンションセンターのほぼ全域をカバーする無線LAN接続認証システムをご提供します。またモール会場におきましては、iSUCのネットワークを管理するNOC (Network Operations Center)の展示も行ないます。ぜひ、お立ち寄りください。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



参加者の皆さまには、 PC対応のビッグサイズ 「iSUC特製バッグ」を プレゼント!

会場にて、「iSUCオリジナルバッグ」(横43×高さ31×奥行き11cm)を差し上げます。B4サイズのノートPCの収納もできる大容量バッグで、ショルダーにもできる2WAYタイプです。

(間違えないよう、ネームプレートにご自分の名刺を入れてご使用ください)

